

おさゆき



おさゆき

北九州市立長行市民センター
 北九州市小倉南区徳吉西3丁目3-16
 TEL:093(452)3651
 FAX:093(452)3652
 e-mail: oy-sf@ktac03.net
 発行責任者 鷹取 貴美子



～長行市民センター職員募集～

長行校区まちづくり協議会が、長行市民センターで働く職員を募集します。

【募集人員】昼職員 若干名
 【勤務条件】① 勤務時間 8:45～17:00
 月曜から土曜(日・祝の出勤の場合あり)
 ② 休日 日曜・祝日・年末年始
 ③ 雇用期間 令和8年5月1日～
 令和9年3月31日
 (但し実績により 最長5年まで)
 ④ 賃金 時給 1,057円
 ⑤ その他 労災保険・有給休暇あり
 健康保険・厚生年金・賞与・退職金・交通費等なし

【業務内容】① 市民センターの開館及び閉館、利用受付、来館者の対応に関する事
 ② 市民センターで実施する各種事業に関する事
 ③ 事務処理や地域活動の連絡調整に関する事
 ④ その他館長が指示する業務

【応募資格】① 長行小学校区にお住まいで、ボランティア精神旺盛な方 男女、年齢は問いません
 ② 地域活動に熱意と関心のある方
 ③ Excel、Word、など簡単なパソコン操作のできる方

【応募方法】市販の履歴書に写真を添付し、必要事項を自書の上、長行市民センターに持参又は郵送してください。

※履歴書は返却しません。ご了承ください。

【募集期間】令和8年3月2日(月)～3月31日(火) 17時まで(期日厳守・必着)

【選考方法】選考委員会の面接による選考決定(面接日時は追って連絡します)

【問合せ先】長行校区まちづくり協議会(長行市民センター内)
 〒803-0278 小倉南区徳吉西3丁目3番16号
 Tel:452-3651

第22回紫川こいのぼりまつりのお知らせ

【掲揚期間】令和8年4月12日(日)から
 令和8年5月9日(土)まで(予定)
 【場 所】国道322号 桜橋周辺の紫川

全てのこいのぼりは皆様からのご寄付によるものです。
 ご家庭で不要になったこいのぼりがありましたら、ご寄付いただくと幸いです。1年を通して受け付けております。

【お問い合わせ：長行市民センター ☎452-3651】
 式典等の詳細は、4月号でお知らせします。



昨年のこいのぼりまつりの様子

こいのぼりリメイクプロジェクトからのお知らせ

3月5日(木)9時30分～(毎月第1木曜日を予定しています)

興味のある方、縫ってみたい方、どなたでも大歓迎です!

私たちは、役目を終えたこいのぼりをリメイクバッグや缶バッジなどに再生し、その収益金を紫川こいのぼりまつりに寄付する『循環型の地域活動』に取り組んでいます。

お問い合わせは市民センターまで ☎452-3651

ご卒業・ご卒園めでとございます。

長行小学校 菅生中学校
 徳吉保育所 双葉保育園

空き家課題

・詳細はこちらのQRコードから
 ・申込みは会場あてに直接お願いします。
 主催：小倉南区役所 総務企画課
 093-280-7839 (9:00～17:00)

小倉南区 7-クショップ
 「おうちを空にしない」ためのイロハを学びましょう

開催場所 両谷 市民センター 093(451)1138
 開催日 3.12 (木) 13:00～15:00



予約不要 長行校区 妊産婦・乳幼児なんでも相談

日時：3月26日(木) 毎月第4木曜日

10時15分～11時30分(受付は11:15まで)

会場：長行市民センター 2F 大会議室(月によって会場変更あり)

お問い合わせ：小倉南区役所保健福祉課地域保健係

(健康相談コーナー)TEL：951-4125



予約不要 ちょっと寄れる場所「おさゆき広場」

日時：3月26日(木)10時15分～11時30分

会場：長行市民センター(多目的ホール)

お問い合わせ：長行市民センター Tel452-3651



今回は、双葉保育園ご協力の「親子あそび」です

子育て親育ち応援講座「ひよこぐみ」は
 5月からの予定です。お楽しみに♡



今月の行事予定
 3日(火) ひなまつりスタンプラリー 最終日
 5日(木) こいのぼりリメイクプロジェクト
 12日(木) 健康料理普及講習会
 26日(木) 妊産婦・乳幼児何でも相談/おさゆき広場
 【休館日】
 1日・8日・15日・20日(春分の日)・22日・29日

その他の活動予定

【生活安全パトロール】 12日(木) 20時～
 ☆両谷地区青少年健全育成協議会春季パトロールと合同
 【自転車パトロール】
 7日・14日・21日・28日
 【徳吉中央公園清掃】
 3月まではありません～次回は4月からです～

生涯学習市民講座の報告

1/29(木)笑顔まんかいの健康づくり～楽しくシナプソロジーに挑戦!

シナプソロジーインストラクターの了戒 恵理子氏を講師にお迎えして、①ストレッチ体操 ②考えながら体を動かすシナプソロジー ③タオル体操 ④リズム体操を楽しく体験しました。



「体を動かすこと、脳を使うこと、人と笑って交流すること、この3つを一緒に行うことがフレイル予防のカギになります。ぜひ毎日の生活に取り入れてみてください。」と教えていただきました。

2/5(木)豊かな老後のために知っておきたいお金の話

金融経済教育推進機構(通称:J-FLEC)から講師をお招きして、①豊かな老後のために ②終活を考える ③贈与・相続 ④金融トラブル、相談窓口など、公平な立場でお話をいただきました。大切なお金に関する基本的な学びとなりました。



2/13(金)歌って健幸～音楽はこころのビタミン愛

音楽療法士の近藤 美鈴氏による参加型のコンサートを開催しました。歌詞をさまざまから歌ったり、2チームに分かれて同じ歌詞でも異なったメロディーで歌ったり。つられまいと混乱しながらも、笑顔の絶えない時間でした。



タイトル通り「音楽はこころのビタミン愛」だと感じたコンサートでした。

2/17(火)部落差別(同和問題)に正しい理解と関心を

徳力地域交流センター館長の東田 倫子氏を講師にお迎えして、今なお差別の残る同和問題についての講演でした。最後に、同和問題をはじめとした人権課題に対して、自分のこととしてとらえ、正しい知識に基づいた行動が必要だと締めくくられました。



2/20(金)認知症当事者の内面世界を感じる

令和健康科学大学で作業療法士として活躍なさっている谷川 良博氏をお迎えして、認知症を患う方の書籍をもとに内面世界などを学びました。「認知症は脳の病気です。困りごとに対して工夫することを一緒に考えてくれると嬉しいです。個人の尊厳を抜きにして捉えられるなど人の偏見や無理解が障壁になることがあります。正しい知識を得る必要があります。」などとお話いただきました。



2/14(土)

ふれあいウォーキング大会

地域でGO!GO!健康づくり事業の一環として、まちづくり協議会主催のウォーキング大会が開催されました。今年はいじめての試みとして、5班に分かれて子どもから大人まで一緒に校区の危険個所を確認しながら歩きました。センターに帰着後、それぞれの班が気づいた危険個所を報告しあってから、食生活改善推進員の皆さん手作りの豚汁とおにぎりで楽しく交流しました。程よく疲労した体にとってもおいしくいただきました。ありがとうございました。

参加者の皆様、スタッフの皆様おつかれさまでした。今後は、今回歩いたコースだけではありますが、参加者が気づいた危険個所をまとめる予定です。



2/20(金)「ふれあい昼食交流会」

今年度最後のふれあい昼食交流会が行われました。お食事を頂く前に、健口塾の原田歯科衛生士さんから、お口と舌をきたえていつまでもいきいきとした生活を送りましょう、とお話がありました。お口の元気体操『あいうべ体操』を1日30回目安に行うことで、口呼吸から鼻呼吸への改善や唾液分泌促進による誤嚥性肺炎、ドライマウス、感染症の予防が期待できるとのことでした。また、小倉南区日々谷区長にもご挨拶頂き、参加された皆さんと一緒に心のこもった美味しい昼食を頂きました。早くから準備くださった食生活改善推進員の皆さん、お手伝いいただいた皆さん、ありがとうございました!



～捨てればごみ、活かせば資源～

古紙・トレイ・古着
小物金属・小物電子
牛乳パック・ダンボール

大切な資源の回収にご協力いただき、ありがとうございます。
センター保管庫が開いている時間
月～金 9時～17時
土 9時～16時45分



新聞紙

雑誌

紙パック

ダンボール

古着

年長者グラウンドゴルフ (敬称略)

2月5日(木)

- 1位 新山 政夫
- 2位 益永 義輝・栗栖 進一
- 3位 木下 清政
- 4位 中野 清美
- 5位 岡村 司

2月19日(木)

- 1位 飯屋 浩
- 2位 益永 義輝
- 3位 岡村 司
- 4位 佐々木 俊二
- 5位 松村 三四郎・後藤 正一
小森 恵美子・佐藤 恭子

★ホールインワン★

- 新山 政夫 3回 益永 義輝 1回
- 栗栖 進一 1回
- 小森 恵美子 1回
- 上田 年夫 1回

- ★ホールインワン★(全員1回)
- 小森 恵美子 飯屋 浩 益永 義輝
- 松村 三四郎 岡村 司 上田 年夫
- 後藤 正一

子ども講座 おさゆきやるキッズ☆

2/7(土)遊びながら学ぶドローン講座

葛原市民センター生涯学習推進コーディネーター小代 智昭氏を講師にお迎えして、10人でドローンの操縦に挑戦しました。ドローンサッカーで使うドローンを操縦してフラフープの輪の中を通過して戻ってくるゲームをしたり、ドローンを使って何が出来るかをみんなで考えて模造紙いっぱい書き出したりしました。今回のオリンピックでも大活躍したドローン、子ども達は本物に触れる良い機会になりました。

